

● この本では、文章の中の「ことば」を正か間違いとしていきます。「ことば」の言い方のことばを答えてもかまいません。

● ポイントは、考え方や注意点をこころに書いていきます。答え合わせをするときにじっくりと読み直します。

● 「く」や「※」は、ほかの答え方です。

● 「( )」は、答えに書いてもよいものです。

● **正しい**の答えては、いた内ようが書いていければ正かいます。

1 物語の読みとり (1)  
登場人物 ①

- 1 (1) 弟
- 2 (1) はやと
- 3 (1) かおりさん
- 4 (1) たかし
- 5 (1) まこと
- 6 (1) りお
- (2) わたし

ページ 1・2

2 物語の読みとり (1)  
登場人物 ②

- 1 (1) 妹
- 2 (2) お母さん
- (1) ももか
- 3 (2) お父さん
- (1) ぼく
- 4 (2) まこと
- (1) わたし
- (2) たかし

ページ 3・4

3 物語の読みとり (1)  
登場人物 ③

- 1 (1) 妹
- 2 (2) お母さん
- (1) ももか
- 3 (2) お父さん
- (1) まこと
- (2) ぼく
- 4 (3) まこと
- (1) たかし
- (2) わたし
- (3) たかし

ページ 5・6

4 物語の読みとり (1)  
登場人物 ④

- 1 (1) 妹
- 2 (2) お母さん
- (1) ももか
- 3 (2) お父さん
- (1) まこと
- (2) ぼく
- 4 (1) たかし
- (2) わたし

ページ 7・8

5 物語の読みとり (1)  
あらすじと場面 ①

- 1 (1) めだか
- 2 (1) 犬
- 3 (1) すみれ
- (2) ちょう
- 4 (1) きのう
- (1) 昼休み
- 5 (1) 母の日
- 6 (1) 放か後
- 7 (1) 放か後

ページ 9・10

6 物語の読みとり (1)  
あらすじと場面 ②

- 1 (1) 公園
- 2 (1) 台所
- 3 (1) 広場
- (2) かげ
- 4 (1) ゆっくり
- (1) べつとり
- 5 (1) びっしょり
- 6 (2) 顔を真っ赤にして

ページ 11・12



13 せつ明文の読みとり(1)  
話題と内よう④ ページ 25・26

1 (1) たまごからかえる様子

(2) 子がめ

(3) ①前

(2) 後ろ

(3) 大急ぎ

2 (1) ① なかまやてきに出会った

(2) 行動

(2) ① 気に入った

(2) 友こうのしるし

(3) もり上げて

14 かくにんドリル(2) ページ 27・28

1 (1) こまのしゆるい

(2) イ

ポイント  
はじめのまとまりに「どんななこまがあるのでしょうか。また、どんな楽しみ方ができるのでしょうか。」と書いてあるね。

(3) もよう

(4) 回すはやさ

(5) イ

(6) ①風 ②ボート

ポイント  
鳴りこまの楽しみ方が書かれている部分に注目してみよう。

15 物語の読みとり(2) ページ 29・30

1 (1) クンクン

2 (1) ぽっかり

(2) うっとり

3 (1) バサバサ

(2) しがみつきました

4 (1) ① かかえて

(2) さげびました

16 物語の読みとり(2) ページ 31・32

1 (1) かね

(2) ひびきわたり

2 (1) ①とびこんで

(2) 目をとじました

ポイント  
二つめの文が、父さんぎるの様子だね。

3 (1) ①雨 ②風

ポイント

「ザーザー」は雨の音、「ビュービュー」は風の音を表しているね。

4 (1) ①深い ②真っ暗

17 物語の読みとり(2) ページ 33・34

1 (1) ねていました

(2) ①あなぐま君

(2) かいで

(3) わかった

2 (1) 葉のこすれ合う

(2) きんちょうした

(3) ①じつと

(2) 耳をすませました

18 物語の読みとり(2) ページ 35・36

1 (1) ①たんじょう日

(2) パーティー

(2) にぎやか

2 (1) ①にごって

(2) おかしなにおい

(2) 気持ちよさそう

(3) ①子ぎる

(2) あつさ

19

物語の読みとり(2)  
場面と様子を表す言い方①

ページ  
37・38

- ① ① ぽっかり
- ② うっとり

2

- (1) ザーザー
- (2) 小ぶね
- ① ① あれた海
- ② ゆれ動いて
- (3) ① あらし ② 草原

20

物語の読みとり(2)  
場面と様子を表す言い方②

ページ  
39・40

- ① ① 波しぶき
- ② ゆれだしました
- (2) こわがっている
- (3) ① こんきち
- ② さげんだへさげぶく

2

- (1) トンネル
- (2) つかれてきた
- (3) ① 子犬 ② あな

21

かくにんドリル(3)

ページ  
41・42

- ① (1) ウ
- (2) ① びっくり
- ② おそろおそろ

ポイント

「母さんぎつねがびっくりして、」。の文に、母さんぎつねの様子が表れているよ。

- (3) ① きらきら ② 反しや

ポイント

真っ白な雪に反しやした日の光を受けて、子どもぎつねは目に何かささったと思ったんだね。

- (4) ① 真わた ② しぶき
- ③ にじ

22

せつ明文の読みとり(2)  
組み立てとじゅんじよ①

ページ  
43・44

- ① (1) アー イ3 ウ4 エ2
- (2) (1) アー ① 4 ② 2 ③ 3
- (2) ① 同じ ② ちがう

ポイント

終わりの文に注目して、「」の文とへらへらみてみよう。

23

せつ明文の読みとり(2)  
組み立てとじゅんじよ②

ページ  
45・46

- ① (1) ア2 イ3 ウー
- (2) ① シヤボン玉 ② 石けん水

ポイント

はじめの文に注目してみよう。

- ② (1) ア2 イ4 ウ3 エー
- (2) ① ようき ② 牛にゅう

ポイント

終わりの文の「」このようにして、できた商品とは、びんや紙のようきに入れた牛にゅうのことだよ。

24

せつ明文の読みとり(2)  
文をつなぐことば①

ページ  
47・48

- ① (1) ぬれた
- (2) 飲んだ
- ② (1) それで
- (2) だから

ポイント

□の中に、ほかのことばも入れてみよう。おかしな文になるよね。

- ③ (1) ぬれなかった
- (2) 出なかった
- ④ (1) でも
- (2) しかし

25 **せつ明文の読みとり(2)**  
文をつなぐことは②  
ページ 49・50

- 1 (1)ふってきた
- (2)しようか

- 2 (1)そして
- (2)それとも

- 3 (1)何をしますか
- (2)代表です

- 4 (1)では
- (2)つまり

26 **せつ明文の読みとり(2)**  
文をつなぐことは③  
ページ 51・52

- 1 (1)①とじる ②とじない
- (2)では

- 2 すると

ポイント

「**口**が開く。**口**、**ち魚**が出る。」という、  
つながり方だね。

- 3 (1)①また ②つまり

27 **せつ明文の読みとり(2)**  
さしめすことは①  
ページ 53・54

- 1 (1)公園

- (2)まんが本
- (3)ハンカチ
- (4)せみ

ポイント

それぞれの**口**の部分に、さしている内  
よう「**口**」を入れて読んでみよう。意味  
が通れば答えは合っているよ。

- 2 (1)公園

- (2)トラック

- 3 (1)右の
- (2)左の

28 **せつ明文の読みとり(2)**  
さしめすことは②  
ページ 55・56

- 1 (1)わた毛
- (2)した

- 2 (1)①しっぱ ②立てる
- (3)あご

- 3 (1)消えて

29 **せつ明文の読みとり(2)**  
さしめすことは③  
ページ 57・58

- 1 (1)長くのびるした
- (2)二本の角のように見えるあご
- (3)たまごを育てるふくろ

- 2 (1)右のボタン

- 3 (1)①しっぱをぴんと立てること
- (2)せなかをもち上げて、毛をさか立てること

30 **かくにन्द्रル(4)**  
ページ 59・60

- 1 (1)アー イ3 ウ5 エ2 オ4 カ6

ポイント

はじめのまとまりに、とうふの作り方が  
書いてあるよ。

- (2)小さな生物

- (3)①むした米か麦
- ②コウジカビ

ポイント

さしめす内ようは、**それ**よりも前の部  
分に出ているよ。

- (4)ウ

- (5)①イ ②ア

ポイント

それぞれ**口**の前後の文をよく読もう。  
①は、みそを作るじゅん番をせつ明して  
いるね。②は、えだ豆ともやしのれいを  
ならべているよ。

31 物語の読みとり(3)  
人物の気持ち① ページ 61・62

- 1 (1)うれしく
- 2 (1)さびしく
- 3 (1)悲しい
- 4 (1)くやしい
- 5 (1)うれしい
- 6 (1)くやしい
- 7 (1)おどろいた

ポイント

3 「悲」→「へ」→「悲」→「悲」→「へ」  
「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」  
「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」→「へ」

32 物語の読みとり(3)  
人物の気持ち② ページ 63・64

- 1 (1)おどりがった
- 2 (1)こぼれた
- 3 (1)かんだ
- 4 (1)ひやり
- 5 (1)大きな
- 2 (2)ぎゅつと

ポイント

人物の様子や行動から気持ちを読みとる  
ことがができるよ。

33 物語の読みとり(3)  
人物の気持ち③ ページ 65・66

- 1 (1)ゆう勝した
- 2 (1)遠く
- 2 (2)来た(来てくれた)
- 3 (1)さびしく
- 4 (1)かわいそうに

ポイント

場面の様子と人物の行動から気持ちを考えてみよう。

34 物語の読みとり(3)  
せいかくや人がら① ページ 67・68

- 1 (1)帰れないよ
- 2 (2)言い返した
- 2 (1)やさしい・親切な
- ※じゅんじよはちがってもよい。
- 3 (1)ぺろぺろ
- 2 (2)クウーン
- 2 (1)おいて
- 2 (2)つれて帰った

35 物語の読みとり(3)  
せいかくや人がら② ページ 69・70

- 1 (1)番
- 2 (2)花ちゃん、いつものようにやればだいじょうぶよ。

※「と言ってくれた。」まで、——を引いてもよい。

- 3 (1)かたの力
- 2 (2)落ち着いて
- 2 (1)早く帰りたい
- 2 (1)ボール
- 2 (2)帰れない

3 はずきのボールなんだから、もう少しさがそうよ。

※まことが言ったことば全体に——を引いてもよい。

36 かくにんドリル(5) ページ 71・72

- 1 (1)ほっとした気持ち。
- 2 (1)あらし
- 2 (2)一人ぼっち
- 3 (1)足
- 2 (2)のばしてくださいよ
- 4 (1)れいはななぜをひいてしまったから(です)。
- 5 (1)おおかみみたい
- 2 (2)しつれいだ(しつれい)
- 6 (1)やぎみたい
- 2 (2)気を悪くする

ポイント

(5)(6)は終わりのやりとりに注目しよう。  
二ひきはおたがいの正体に気づいていな  
んだね。

**37** せつ明文の読みとり(3)  
だいじなところ(要点) ① ページ 73・74

- 1 (1) あご  
(2) あご

(3) こわがらせる

2 (1) 長くのびるした

(2) アした

イ (小さな) 虫

(3) ア 長くのびるした

イ えものをとらえる

ポイント

②③では、かんさつした様子<sup>ようす</sup>がくわしく書かれているんだね。

**38** せつ明文の読みとり(3)  
だいじなところ(要点) ② ページ 75・76

1 (1) じょうぶ

(2) ア根が長い ① 水分

ウ 生きている

2 (1) 空きびん

(2) ア 空気 ① うく力

(3) 空気のタンク

ポイント

せん水かんの仕組み<sup>しくみ</sup>を空きびん<sup>びん</sup>を使ってせつ明しているよ。

**39** せつ明文の読みとり(3)  
まとまり(だん落)のはたらき ① ページ 77・78

1 (1) あ…② (1) い…③ (1) う…①

(2) ②・③

※じゅんじよはちがってもよい。

2 (1) あ…③ (1) い…②

(2) 二本の角のように見えるあ

※「あ」でもよい。

(3) ②・③

※じゅんじよはちがってもよい。

**40** せつ明文の読みとり(3)  
まとまり(だん落)のはたらき ② ページ 79・80

1 (1) ①

(2) ② 問いかけ ③ 答え

2 (1) 実けん

(2) ③

ポイント

「」のように「は」空きびんの中の空気のあるなして、空きびんがういたりしずんだりすること」をさしているよ。

(3) 問いかけ・答え

※じゅんじよはちがってもよい。

**41** かくにんドリル ⑥ ページ 81・82

1 (1) ①はたらきあり

(2) 道しるべ

(2) ①おしり (2) におい

(3) ③じょうはつしやす

(3) ③

ポイント

さしめす部分<sup>ぶぶん</sup>は前<sup>まえ</sup>にあることが多いよ。  
ここでは③のまとまりの「ありの体の仕組み<sup>しくみ</sup>の研究」の内<sup>うち</sup>なつをさしているよ。

(4) ア

ポイント

□の前後の文に注目<sup>ちゅうもく</sup>しよう。□の後ろの文には、□の前の文のけっかが書かれていゑるよ。

(5) におい

(6) ウ

ポイント

①のまとまりでは「なぜ、ありの行列<sup>ぎょうれつ</sup>ができるのしょうか。」と問<sup>と</sup>いが書いてあるのに対して、②のまとまりでは「〜の〜」の行<sup>ぎょう</sup>列<sup>れつ</sup>ができてきたとらいつわけてす。「。と問<sup>と</sup>いに対する答<sup>こた</sup>えが書いてあるね。

## 42

## 詩の読みとり(1)

ページ 83・84

1 (1)①とべる

② (はやく) 走れる

(2)①でる(鳴る)

②知っている

(3)みんなちがって、みんないい。

## ポイント

終わりのまどまりに、「すずと、小鳥と、それからわたし、／みんなちがって、みんないい。」とあるね。

2 (1)イ

(2)雪のぼうし・風のゆび

※じゅんじよはちがってもよい。

(3)風の子ども

(4)・ぴくりっ ぴくぴくっ

・ぴくぴく ぴくくくっ

※じゅんじよはちがってもよい。

## ポイント

どのまどまりにも入っている言葉だね。

## 43

## 詩の読みとり(2)

ページ 85・86

1 (1)□タ方

□どこさかみち

(2)ア

(3)ア

## ポイント

とひがともる「終わりのまどまりのぼっ  
様子からきええなう。」

2 (1)イ

(2)②夕日(太陽) ①ぼくら

## ポイント

この詩に出てくるのはだれなのか注目し  
よう。

(3)ウ

## 44

## しんだんテスト(1)

ページ 87・88

1 (1)①おすおす ②エプロン

(2)れいむすめが帰ろうとしたから。

## ポイント

——の前のつぼみさんのことに注目し  
よう。

(3)耳がよくなるまほう。

(4)イ

## ポイント

つぼみさんは、むすめのまほうの話を聞  
いて大きくなすいてるね。

(5)れい畑をかりているお礼だから。

(6)①おじぎ ②にげるように

## 45

## しんだんテスト(2)

ページ 89・90

1 (1)①でっかいでっかい

※「でっかい」でもよい。

②実

(2)ほったが落っこちるほどまいんだ。

(3)イ

## ポイント

〜の後に「〜いばってさいそくしたり  
〜。」とあるね。

(4)①おこって ②お化けえ

## ポイント

「木がおこって〜おどかすんだ。」の文に  
注目しよう。だから、豆太はこわくてた  
まらないんだね。

(5)イ

(6)ウ

## ポイント

豆太は昼間はモチモチの木にいばって  
たのに、夜になるとこわくて一人てし  
よべんにすら行けなくなっていたね。



46

しんだんテスト(3)

ページ  
91・92

①ウ

②①草原 ②風

ポイント

「いつもアフリカのゆめを見た。」とあるね。その後、どんなゆめかが書かれているね。

48

しんだんテスト(5)

ページ  
95・96

①①ひやしたタオル ②ひたい

②**れい**ねつがあるから。

〈びょうきだから〉。

ポイント

二つ目のましまりに注目しよう。女の子はお母さんの世話をしているね。

(3)むちを鳴らす 〈むちのく〉  
(4)風がふく  
(5)あ (ライオンづかいの) おじさん

い (ライオン)の (じんぎ)

(6)ウ

ポイント

毎日、同じことばかりやっているじんぎを気にかけているんだね。

(7)うきうき

ポイント

「は、うれしくて心がはずむ様子を表すよ。」

47

しんだんテスト(4)

ページ  
93・94

①①きびしさ ②めだかの体

ポイント

①のましまりに注目しよう。

(2)ア

ポイント

「他の魚は死ぬ。」  
①「めだかはだいじょうぶ。」というつながり方だね。

(3)①小さい ②四十度

④②…⑦

(5)海水では生きることができません。

(6)イ

49

発展テスト(1)

ページ  
97・98

①イ

②①色 ②形 ③重さ ④むずかしい

※①③のことは、じゅんじょがち

がってもよい。

(3)ぐるぐる回して

※「回して」でもよい。

(4)イ

(5)①ゆでたまご ②生たまご

(6)④

ポイント

ゆでたまごと生たまごの回り方のちがいについて、くわしくせつ明しているましまりを見つけてよう。

(7)ウ

① ①ゼッケン

② ゆうびん番号

③ 市外局番

(2) ① じょうほう

② かんたん

③ イ

(3) イ

ポイント

④のまどまりに「ひょうしきよりもっとかんたんにしたものが地図に使われるきこうす」とあるね。

(4) ひと目で分かる

⑥

(5) ③

ポイント

②のまどまりと⑥のまどまりに注目しよう。どちらも文のはじめが「これらは」となっているよ。②のまどまりの「これは」は①のまどまり、⑥のまどまりの「これは」は③と⑤のまどまりの内よつをばしてつてみるよ。

① ①どんなはたらきがある

ポイント

①のまどまりに注目しよう。

(2) 通れるかどうか

(3) しっかりと見つめた

※「見つめた」でもよい。

(4) ネコの顔の触毛は、広げると顔を取り

まく大きな円のような形になります。

ポイント

ネコの顔のまわりに田が書かれているよ。

(5) ①足もと ②ぶつからずに

(6) あご・前足

※じゅんじよはちがってもよい。

(7) ①動くえもの

※「えもの」でもよい。

②すばしこく